

授業科目	社会的養護 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21602J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-3			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	子どもたちは未来の社会を創造する大切な存在です。しかしながら児童虐待など子どもの問題も深刻化・顕在化しており、それに伴い社会的な養育の必要性が謳われている。いかなる環境で育っている子どもであっても人格が尊重され、子どもの最善の利益に基づいて、その健やかな育ちが等しく確実に保障される必要がある。社会的養育を巡っては子どものニーズに応じた養育の提供や施設の改革などの着実な推進に向けてロードマップは示されているが、この授業ではこれらの点について学習し、社会的養育を必要とする子どもと家族を支援していくための、社会の変化を踏まえて、その理念、制度、方法などの基本的内容を理解できるよう内容が構成されている。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 2 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 3 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 4 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 5 社会的養護の現状と課題について理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	25						25	
知識・理解 (DP1-2)	25						25	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10						10	
思考・判断 (DP2-2)	10						10	
関心・意欲 (DP3-1)	10						10	
関心・意欲 (DP3-2)	10						10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	10						10	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
社会的養護について十分な知識があり、また課題解決に向けて思考することができる。定期試験の結果で 90%理解ができていること。				社会的養護について概ね理解している。定期試験で 70%に到達できること。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション:授業についての概観			講義		テキスト該当箇所を予め通読しておくこと		30分

	社会的養護とは何かその現代的課題と基本理念について解説する。			
2	社会的養護の歴史の変遷： 欧米や我が国の社会的養護に係る歴史について概要を解説する。	同上	同上	30分
3	子どもの人権と社会的養護： 子どもの人権およびその権利について生成過程を含めて解説する。	同上	同上	30分
4	社会的養護の基本原則： 社会的養護とはどうあるべきかその基本的理念と原理について解説する。	同上	同上	30分
5	社会的養護の仕組みと法体制： 社会的養護を支える基本的な法体系について解説する。	同上	同上	30分
6	社会的養護に関する制度や法体系： 社会的養護に係るその他の法体系についてについて解説する。	同上	同上	30分
7	社会的養護の実施体系： 社会的養護に係る公的機関の役割及び相談・援助の中核的な機能を果たす児童相談所等について解説する。	同上	同上	30分
8	社会的養護の対象と支援の在り方： 社会的養護の対象と現状及びソーシャルワークについて解説する。	同上	同上	30分
9	社会的養護の対象と支援のあり方： 一乳児院・児童養護施設などの児童福祉施設の現状・機能・実際について解説する。	同上	同上	30分
10	社会的養護と支援の在り方： いわゆる里親などの家庭養護について解説する。	同上	同上	30分
11	社会的養護に関わる専門職： 専門職の職務内容・役割について解説する。	同上	同上	30分
12	今日の社会的養護における運営管理： 社会的状況及び施設等の運営管理の現状と課題について解説する。	同上	同上	30分
13	被措置児童等の虐待防止等： 児童虐待の状況及び発生予防、発生原因を含む取り組むべき課題について解説する。	同上	同上	30分
14	社会的養護の現状と課題： 現状分析から導かれるこれからの社会的養護の課題と今後の在り方について解説する。	同上	同上	30分
15	全体のまとめとテスト： 社会的養護 I 全体のまとめ及び授業の理解度を確認するためのテストを実施する。			
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	児童・家庭福祉で学んだ内容について復習しておく。			
テキスト	小川・坂本編著 実践に活かす社会的養護 I (2020)ミネルヴァ書房			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	社会的養護を必要とした子どもたちの語りをまとめた文献等を読み、現状と課題だけでなく、その心情に配慮した養育のあり方についても思考の範囲をを広げてほしい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	基本的には試験の結果で達成度を評価します。社会的養護Ⅱにつながるものとして、この授業内容を標準的レベル以上に理解しておくことが求められます。			

